



7月

令和5年7月1日

ちびっこの森通信 vol.74

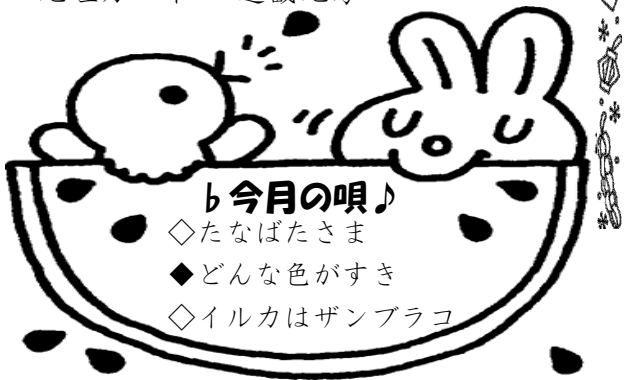
☆☆今月のテーマ☆☆

- ・外遊びでしっかり汗をかいたり、積極的に夏遊びをする
- ・七夕に興味をもち、飾りつけなどを楽しむ



～今月の園内学習～

- ・たし算…8の段
- ・かけ算…8の段
- ・絵画カード…オリンピックほか
- ・声に出して読みたい日本語…「蜘蛛の糸」芥川 龍之介ほか
- ・歴史カード…日蓮ほか
- ・国旗カード…イギリスほか
- ・地理カード…近畿地方



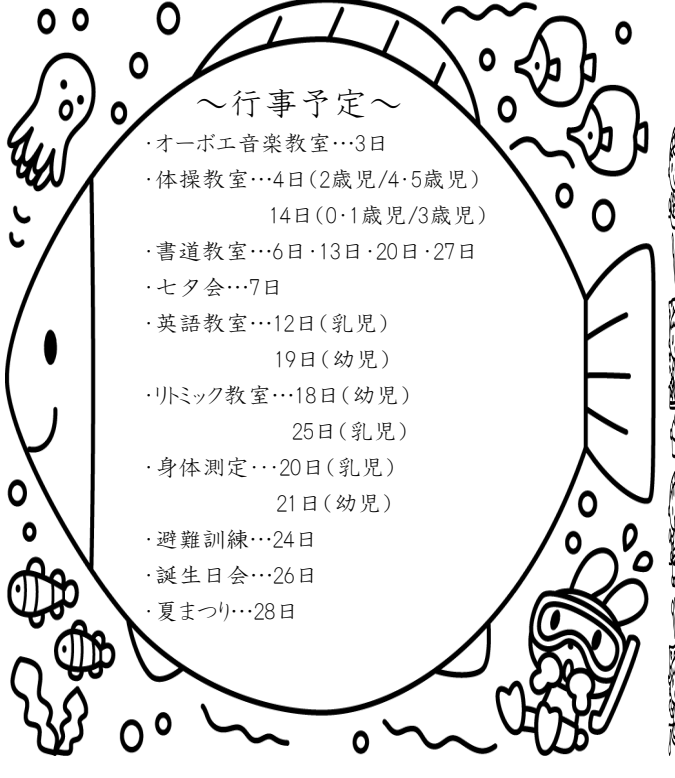
♪今月の唄♪
◇たなばたさま
◆どんな色がすき
◇イルカはザンブラコ

～保育のポイント～

赤ん坊は親の都合など少しも構わず、お腹がすいたというのは泣き、大便をしたというのは泣いています。つまり、こどもは本来、極めて自己中心的でわがままな存在です。しかし、赤ん坊も、自分の要求が必ずしも通るとは限らないという体験を繰り返しながら育っていく内に、次第に社会性が発達し、自分のわがままを控えていくようになります。

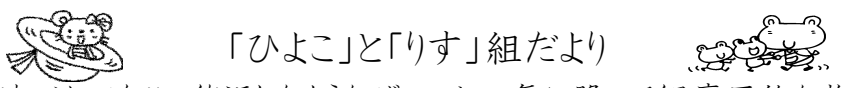
昔も今もわがままな子はいますが、昔の「わがまま」には、何ん自由なく育った世間知らずという響きがあり、それをこどもの世界でも「是」とすることはなかったように考えられます。しかし、「少子化」と言われる昨今は、こどもに親がかける時間が当然、多くなり、「わが子可愛さ」の余りにこどもの要求は何でも通してしまいがちで、わがままだ助長される傾向にあり、結果としてわがままな子が育ちやすい家庭環境と言えるかもしれません。そこで、この傾向を直すには、これまでの親子関係を根本的に洗い直すと同時に、こどもに自分のわがままを客観的に認識させることも大事と言えます。それには、心理療法的で行われている「ロール・プレイング」(役割演技)という手法を取り入れてみるのがいいかもしれません。「ロール・プレイング」とは、ある役割を演じさせることによって、自分自身を見つめ直させることを目的としたもので、いじめっ子などの問題児が、いじめられっ子の役割を演じるだけで、その粗暴な性質が改められていったという例は数多くあると聞きます。この「ロール・プレイング」を生かすとするれば、年下のこどもの世話をさせるというのが、もっとも手軽な方法であり、自分より年下の子の世話をすると、自分のわがままが通らないことをまず発見するはずで、世話をするということが、否が応でも、相手の要求に応じなければならない面があるからです。また、相手のわがままな面にぶつかって、わがままというものが周囲の人にどんな感じを生み出すのかも、年下のこどもとの関係から学んでいくでしょう。このようなことが分かってくると、周囲の大人がヤイヤイ言わなくても、そのこどものわがままな面は自然と少なくなってくるはずで、

～「しつけの知恵(多湖輝著)」より抜粋～



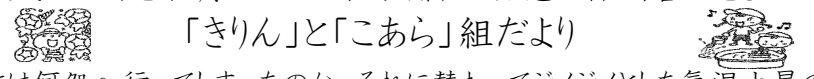
～行事予定～

- ・オーボエ音楽教室…3日
- ・体操教室…4日(2歳児/4・5歳児)
- 14日(0・1歳児/3歳児)
- ・書道教室…6日・13日・20日・27日
- ・七夕会…7日
- ・英語教室…12日(乳児)
- 19日(幼児)
- ・リトミック教室…18日(幼児)
- 25日(乳児)
- ・身体測定…20日(乳児)
- 21日(幼児)
- ・避難訓練…24日
- ・誕生日会…26日
- ・夏まつり…28日



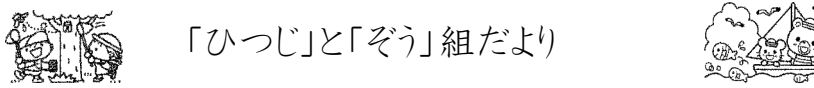
「ひよこ」と「りす」組だより

最近シトシトよりもバケツをひっくり返したようなザー〜と一気に降ってくる豪雨的な梅雨のイメージ。そんな梅雨も太陽のギン・ギラと照りつける日差しで暑さ倍増の夏と主役交代の時期。こどもたちは園生活にすっかり馴染み、積み木やぬいぐるみで遊び、絵本の「りんご」や「ばなな」の絵を指差しては「あったよ」と笑顔で教えてくれる姿がみられます。室外ではジメジメの中、お散歩の外気浴で汗をかきかきしながら、夏本番を迎える準備をしています。月齡的には自我の芽生え、(イヤイヤなどの)意思表示がみられるようになってきましたが、一人ひとりがしっかりと自己を確立していけるようによく見守っていくようにしたいと思います。これからは水あそびで涼を取り、こまめな水分補給と休息で体調管理をしていきたいと思います。



「きりん」と「こあら」組だより

少し前までの清々しさは何処へ行ってしまったのか、それに替わってジメジメとした気温上昇の気候変化に身体がついていかないもどかしさの中、夏に向けた室外活動も積極的に取り入れようとしています。最近、きりん組は「ぬいぐるみ」がお気に入りのようで、大きなふわふわ感たっぷりのぬいぐるみと戯れています。また、お友だちの背中からギュッと抱きしめるスキンシップをはかっています。このようにお友だちとの関係性が深まるのを微笑ましいことと受け止めています。こあら組では室外活動が難しい雨の日に「ゲーム遊び」を楽しむ姿が広がっています。椅子取りなどでは「勝つ」喜びや「負ける」悔しさなどの喜怒哀楽をゲームを通じて体験することで心の育みができているようです。負けたことでふさいだり、勝つことで浮かれ過ぎないなども対人関係で必要なことでよい学びの場となっているのは何よりと思います。今月は水あそびで厳しい暑さを少しでも和らげ、元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



「ひつじ」と「ぞう」組だより

梅雨の季節で思うように室外へ飛び出して元気澁刺とはいかないまでも外気浴で季節を感じ、暑さなどの耐性がつくように室外遊びも取り入れて本格的な夏を元気に過ごしていけるように準備をしています。ひつじ組は、時計やカレンダー製作でアジサイの製作をしました。はじき絵やバブルアートなどのハイブリッドな技法を駆使したので「こんなアジサイあったらきれいじゃない?」とみんなからは賞賛の意見が出てくる出来映えとなりました。そんなこんな工夫もあってか、みんなの集中力が増しているのも特筆すべきことです。一方、「リレー」にはまっているぞう組のみんなは公園では決まって「リレーやろう!」と誰からともなく声上がり、熱戦が繰り広げられることから大粒の汗が頬を伝わるのは日常茶飯事となっています。また、リレーを広めようと年下の友だちにも教える姿が見られ、年長者としての風格も見られるのも大きな成長の一つでしょうか。天候の関係で日程が取れなかったお芋の蔓植えもおいちゃんのご厚意で鳴門金時など他2品種を植え、秋口にまた一つ楽しみが増えました。これからの夏は水あそびで涼をとりながら元気に過ごしていきたいと思います。



給食だより

～そうだったのか、フィット・ケミカル!～

日本には四季があり、清々しい春とは好対照な高温多湿で心も身体も痛めつけられる夏の季節へと移り変わろうとしています。人間もそうですが、他の動物や植物は季節の環境に適応しながら生きています。植物はそんな過酷な自然環境に抗い、内部にパワーを秘めて生きています。そのパワーは紫外線や害虫などから身を守るための機能性成分で植物の色、香り、苦味、辛味などを指します。所謂、これが植物の「匂」と言われるもので人間や動物が体内で作りだすことができない「第7の栄養素」と言われる「(ギリシャ語で植物)フィット(英語で化学物質)ケミカル」を指し、これらは野菜や果物を食べることで取り入れることができ健康の維持や増進に繋がっています。夏野菜を色ごとに大きく7つに大別すると(1)赤:リコピン/血流改善(トマト、パプリカ、スイカ)、(2)黄:ルテイン/抗酸化作用(とうもろこし、しそ)、(3)橙:βカロテン/皮膚や粘膜の健康維持(ニンジン、かぼちゃ)、(4)緑:クロロフィル / デトックス効果(ピーマン・オクラ)、(5)紫:アントシアニン/目の健康(茄子、ピーズ)、(6)白:イソフラボン・アンチエイジング効果(枝豆、大豆)、(7)茶:βグルカン/免疫力向上(きのこ類、大麦)となります。これからジメジメ感たっぷりに段々と厳しい暑さの夏が到来すると食欲が次第に落ちて最悪のケースとして夏バテをしてしまわないとは言いきれません。そこで、フィットケミカル(植物性の化学物質)たっぷりの「匂」な夏野菜を効率よく摂取し、身体内部に「匂」パワーを摂り入れて元気に過ごしていけるようにしましょう!